

いきものふれあいの森 通信

2026.05.24 第18号



○ 森の里広場の古民家利用と畑活用

4月24日（金）、『松本シュタイナー認定こども園ひなたぼっこ』の年長さん6名と先生方が遠足に来てくれました。北入口駐車場から古民家を目指して、春の公園を満喫しながら元気いっぱい歩きました。生き物たちを観察するなど、自然との触れ合いも楽しまれていました。



秋に予定している『染色体験』に向けて古民家前の畑に花壇を作りました。今回はマリーゴールドの苗の定植と種まき、そして藍の種まきを行いました。仕上げにビオラを植えると花壇に鮮やかな色どりを添えることができました。花々が咲き誇り、古民家が華やかに彩られる日が今から待ち遠しいです。これからの生長を大切に见守っていきたいと思います。



○ 森の里広場の5月の花木

【カリン】

古民家の西側にあるカリンの木は、五月にピンク色の花を咲かせ、秋には黄色い果実を実らせます。春と秋で異なる表情を楽しめるのが魅力です。



【ヤマツツジ】

園内の各所で見られますが、古民家の周辺や薬草園の西側で見ることが出来ます。蝶などの昆虫たちが蜜を吸いに訪れる、のどかな光景に出会えるかもしれません。



○ 森の入口休憩所のこいのぼり

ゴールデンウィークに合わせて、岡田保育園の年長さんによる手作りこいのぼりを展示いたしました。可愛らしく元気な作品の数々は、休憩所で過ごす皆様の心を和ませてくれました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



○ アルプス公園サポートクラブ 活動報告

5月13日（水）、花の丘正面入口の階段や巨石エリアを中心に、樹木の下草やつる草の撤去を行いました。皆様に、お花や美しい木々を引き続き楽しんでい

ただけるよう、丁寧に整備を進めております。より良い公園づくりと「花の丘」の景観保全のため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。短い時間で楽しく作業を行っていますので、興味のある方はぜひお気軽にご参加ください。



○ 山と自然博物館 初夏の野鳥観察会

まぶしいほどの新緑と澄み切った青空が広がった5月9日(土)には、山と自然博物館の『初夏の野鳥観察会』が行われました。まず、山と自然博物館にて講師の丸山隆氏より、双眼鏡の使い方や愛鳥週間(5月10日～16日)についての解説を伺いました。その後、さっそく新緑の公園の散策へと出発しました。

北の方へ歩いていくとタヌキの『ため糞』があり、動物の生態についても興味深いお話を伺いました。そんな中、サクラの木の脇から早速『コゲラ』が姿を見せてくれました。



また、木々から園路に可愛らしい『ジョウビタキ』のメスが顔を出してくれました。



近くの水辺では、爽やかな新緑を背景に『ヤマガラ』も姿を見せてくれました。森の入口広場から森の里広場に向かう間も、野鳥観察に加え、植物や昆虫の解説もしていただきながら、古民家を目指しました。到着後の古民家でも休憩を挟みつつ、ゆったりと自然観察を行いました。



山と自然博物館の学芸員、内川潤季氏より、



『ウスバシロチョウ』の解説や観察できた昆虫についてのお話を伺い、参加した子供たちも興味津々で楽しそうでした。

復路ではこの時期の観察は珍しいとされる冬鳥の『ヒレンジャク』の姿もあり、特徴的な赤い尾を観察することができました。



その他にも、トビやヒヨドリ、エナガ、シジュウカラ、カワラヒワ、スズメ、ツバメ、そしてサンショウクイなど、多くの野鳥に出会えた充実のひとときとなりました。初夏は草木が芽吹き、木陰に隠れる鳥を探す難しさはありますが、囀(さえず)りに耳を傾け、植物や昆虫と触れ合えるのはこの季節ならではの醍醐味です。新緑が美しい今の時期、鳥の声を楽しみに公園を散策してみてもはいかがでしょうか。



伝言板

「アルプス公園サポートクラブ」

ボランティア 花の丘作業

・場所 アルプス公園 花の丘

・日時 5月27日(水)、6月10日(水)

午前8時30分～10時30分

・集合場所 花の丘階段の下

(東駐車場の架け橋を渡った先)

お気軽にご参加下さい。